

CASBEE[®] 新築[簡易版]

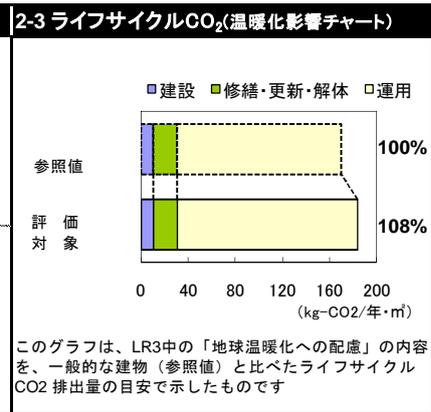
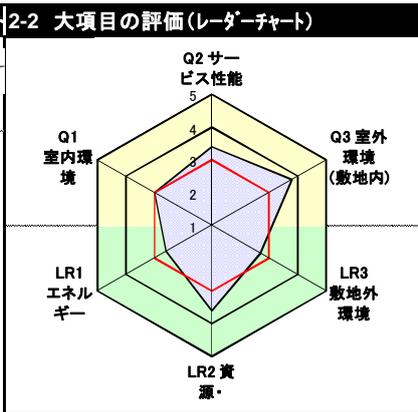
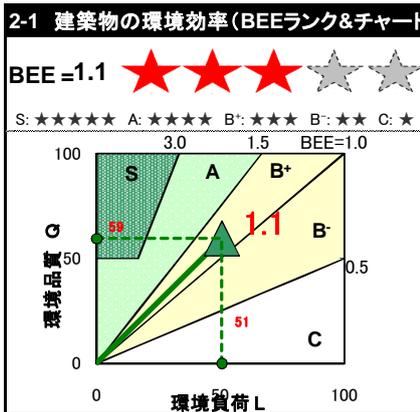
■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版

評価結果

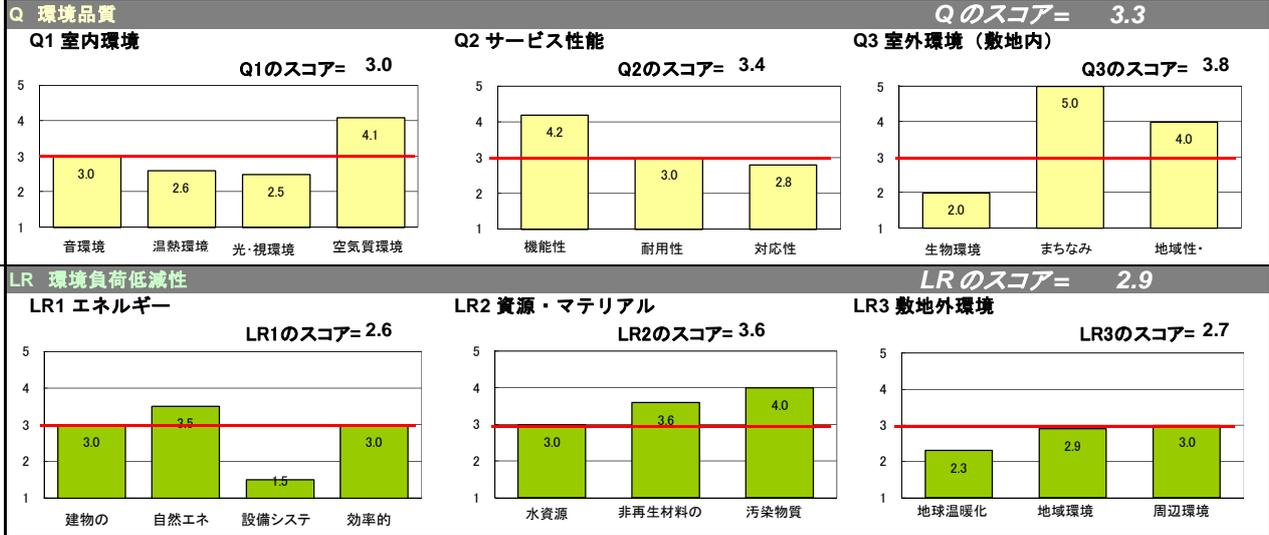
使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	にしがも舟山庵	階数	地上2F
建設地	京都府京都市北区	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	80人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2009年2月9日
敷地面積	4,458 m ²	作成者	東條 和彦
建築面積	2,161 m ²	確認日	2008年7月10日
延床面積	3,793 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 本施設は高齢者の居住施設であるため、省エネルギーや環境負荷の少ない資材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性の確保や周辺の景観への配慮を行っています。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください	
Q1 室内環境 高齢者の生活空間であるため、十分な採光の確保と出来るだけ騒音値の低い設備機器を使用することにより、明るく落ち着いた環境を作ります。	Q2 サービス性能 生活空間の広さを十分に確保するとともに、便所や浴室などのバリアフリー化を行います。設備はユニット毎にまとめ、設備の更新が容易にしています。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を出来る限り確保するとともに、バルコニーやキャンピによる日陰を作っています。敷地は住宅地に在るため、高さを出来るだけ抑え、勾配屋根とすることで周囲に圧迫感を与えないようにします。
LR1 エネルギー 採光を十分に確保し、カーテンやブラインド等で調整できる様にするのと、通風が出来る様に、窓の配置を行っています。	LR2 資源・マテリアル 多人数が生活するため、節水型便器を採用することで、節水を行います。リサイクル製品の採用に努めます。	LR3 敷地外環境 高さを出来るだけ抑え、周辺への影響を少なくしています。大気汚染や騒音による影響が少ない設備を採用しています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される